







外科年報

2 0 2 0



川崎幸病院



外科年報

2 0 2 0





川崎幸病院 副院長 診療部長 外科部長

後藤 学



川崎幸病院 外科部長代行

成田 和広

日頃、川崎幸病院を御支援頂きありがとうございます。当科は、2019年4 月に呼吸器外科領域に藤野医師、肥満外科に網木医師を新たに迎え上 下部消化管外科、肝胆膵外科、呼吸器外科、乳腺外科、肥満外科を網羅 する大外科です。2020年度からは呼吸器外科副部長として長山医師、消 化器外科に望月医師をむかえ総勢14名となりました。

川崎幸病院での入院診療はもちろん第二川崎幸クリニックにおいても外科、食道外科、呼吸器外科、乳腺外来、肥満外来、化学療法外来を展開しております。

2019年は川崎幸病院での入院手術、第二川崎幸クリニックでの外来手術を合わせて1,199件の手術実績がありました。

手術実績からみる当科の特徴は、以下の5本柱に表せます。

- 1. 消化器腫瘍外科:食道がん、胃がん、大腸がん、膵臓がん、肝臓がん、といった消化器悪性腫瘍の手術を2019年は235件行っています。
- **2. 腹部内視鏡外科:** 年間1,199件の手術のうち約半数の576件が内視鏡手術でした。
- 3. 腹部救急外科: 年間1,199件の手術のうち252件が緊急手術でした。 「断らない医療」の理念のもと救急患者の受け入れと手術を行っています。
- 4. 乳腺外科: 乳腺専門医2名体制で年間151件の乳腺手術を行いました。
- 5. **呼吸器外科**:2019年4月から呼吸器外科藤野医師が入職されました。 4月から12月までで59件の呼吸器外科手術を行いました。

2020年度も上記5本柱を中心とした外科運営を継続します。 本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

平素は川崎幸病院消化器病センター外科に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルスにより未曽有の大災害が起こり、医療界は未知のウイルスとの闘いを余儀なくされております。医療崩壊が危惧される中、当院でも一時自粛せざるを得ない状況となりましたが、感染対策を整え当院の役目としての医療の提供が維持できるよう努めております。

当科は各専門医、内視鏡技術認定医による最新で高度な専門医療としての ①消化器腫瘍外科および ②腹部内視鏡外科、緊急時に地域に頼られる断らない医療としての ③腹部救急外科、そして ④乳腺外科に加えて ⑤呼吸器外科の癌治療も開始し、これらを5本柱として位置付け、地域の皆様に信頼され要望に応えられるよう体制を整えております。そして、放射線治療や第二川崎幸クリニックでの外来化学療法などを組み合わせた癌の集学的治療を行い、地域のがん診療の拠点としての役割は果たしていく所存です。

鼠経ヘルニアや痔疾患などは、以前より行っている1泊2日の短期滞在手術も継続して行っております。また、減量外科を開設し、時代のニーズとなっている高度肥満に対する手術も始めました。

外科はチーム医療であり、スタッフー同一丸となって患者さんの立場に立った安全で最適の医療を行い、地域の医療機関とも連携を密にして邁進する所存です。皆様の変わらぬご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

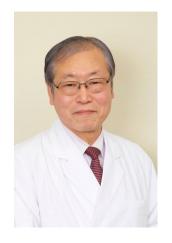


川崎幸病院 副院長 がん治療センター長 外科主任部長 臨床研修部長

たちもり 日月 裕司 国民の2人に1人ががんに罹る時代です。川崎幸病院の外科でもがんに対する手術が増えています。高度な専門的手術が提供できる体制を整えるとともに、患者さまに負担の少ない低侵襲手術にも積極的に取り組んでいます。

手術だけでなく、抗がん剤治療や放射線療法、さらに免疫療法を組み合わせた集学的治療が日々進歩しています。診療科や部門の垣根をなくし、各診療科が連携してそれぞれの患者さまに最適な医療を提供するために、がん治療センターが機能しています。外来化学療法室では抗がん剤治療の増加に対応するとともに、放射線療法との併用療法が円滑にできるようにしています。

地域の中で安心してがん医療を受けたいという要望に応えるため、外来 から入院を通して診療がスムーズに行われるように、第二川崎幸クリニッ クとの連携をさらに進めます。地域の医療機関とも連携して、診断治療か ら緩和ケアを含めて地域全体のがん診療の向上に貢献できるように努め ていきます。



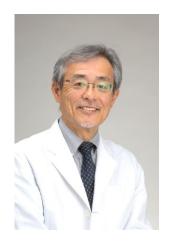
川崎幸病院 副院長 呼吸器外科部長

藤野 昇三

2019年4月に川崎幸病院呼吸器外科が正式に発足いたしました。外科の中の1診療部門として活動することはこれまでと同様ですが、専門医が常勤することになり院外・院内の先生方のご要望にお応えできる体制が整いました。

呼吸器外科が扱う対象疾患は原発性肺がん、転移性肺がん、気胸、肺嚢胞、縦隔腫瘍、胸壁腫瘍、胸膜中皮腫など多種類に及びますが、当科では一般的な呼吸器外科では対応困難な胸郭変形(漏斗胸、鳩胸)、多汗症などにも対応が可能です。全体の8割は胸腔鏡(補助下)手術ですが、安全性と確実性を最優先に考え、胸腔鏡手術に拘泥することがないようにしています。

さらに2020年4月から呼吸器外科専門医が2名体制になり、術者・曜日・時間の制限が大きく緩和され、効率よく症例をこなすことが可能になりました。また、これまでより重症な症例や高難度の手術の施行が可能になります。これまで以上に地域の先生方からのご期待に応えることができると確信しております。



第二川崎幸クリニック 院長 川崎幸病院 外科顧問

関川 浩司

100年に一度といわれる新型コロナウイルス禍では皆様にはご苦労の日々をお過ごしになっていることとお察し申し上げます。

今回の感染症は今まで日常と思っていたことが非日常と化し、また周囲 の風景も一変してしまいました。とりわけ医療界は最前線での戦いを余儀 なくされ、これまでの医療も様変わりしました。当外科も感染予防の見地か ら入院、手術の制限をかけざるを得ず、また外来部門の第二川崎幸クリ ニックでも来院される患者さんやスタッフの安全を確保するため入館の際 の体温測定やマスク着用の義務化、詳細な問診の取得、トリアージスペー スの設置さらにはリモート診療や電話再診をはじめとするオンライン診療が 導入されました。慢性期の方々には長期処方などの対応もしております。 患者さんの中には不要不急の外出を避ける意味もあり来院を控える方も いらっしゃいました。また各学会からは不要不急の手術や内視鏡検査の 自粛も求められました。果たしてこれまでの医療は不要不急であったのか、 それぞれがそれぞれの立場で考えさせられる日々でもありました。今後医 療界もCOVID-19の影響にて変化を遂げていくことでしょう。 しかしながら必 要とされる医療は変わらぬものと堅く信じております。当院外科が得意とす る腫瘍外科部門、また救急外科医療分野、内視鏡外科分野、外来での 日帰り手術、抗がん剤療法部門など、今後もより良い医療の提供を萎縮 することなく継続して参りたいと思います。

外科はこれまで部長 後藤学を中心に診療を行っておりましたが彼が副院長兼診療部長という重責も担っていることより、外科の運営については今後、部長代行である成田和広を中心として医局員一丸となり邁進する所存です。今後とも引き続き当科への変わらぬご支援、ご指導を何卒宜しくお願い申し上げます。

しばらくは落ち着かない日々が続くとは思いますが、皆様におかれましてはくれぐれもご自愛くださいますようお願い申し上げます。

- 1. 消化器腫瘍疾患に対する高度専門医療の提供
- 2. 急性炎症、急性腹症、腸閉塞、穿孔性腹膜炎をはじめとした消化器の急性期疾患 に対する24時間の対応

外科診療の5本柱

消化器腫瘍外科

腹部内視鏡外科

腹部救急外科

乳腺外科

呼吸器外科

下記の疾患についてご紹介ください

診療対象疾患

悪性腫瘍等

食道がん、胃がん、大腸がん、肝臓がん、膵臓がん、胆のうがん、乳がん、肺がんなど 良性疾患

消化管良性腫瘍、痔疾患、胆嚢結石、鼠経ヘルニア、腹壁ヘルニア、高度肥満、気胸、 肺嚢胞、縦隔腫瘍など

急性疾患

急性腹症、胃十二指腸潰瘍穿孔、大腸穿孔、腸閉塞、虚血性腸炎、大腸憩室炎、 急性胆嚢炎、ヘルニア嵌頓、気胸 など

シームレスな診療の提供 ~第二川崎幸クリニックとの連携~

外科では、外来施設である第二川崎幸クリニックとの連携を密にし、外来診療・診断から入院治療、そして退 院後の療養まで、シームレスな診療を提供しています。

川崎幸病院では入院治療・集学的治療を、第二川崎幸クリニックでは外科外来診療、化学療法外来、日帰り 手術はもちろん、がん相談外来、緩和ケア相談外来、がんサロン等の精神的、社会的サポートも行っています。



- 入院治療

•がん集学的治療 (手術・放射線治療・化学療法) シームレスな 診療

> 外科外来/化学療法外来/がん相談外来/ 化学療法インテーク外来/緩和ケア相談外来/ 漢方外来/リンパ浮腫外来/栄養外来/ がんサロン など

消化器腫瘍外科

消化器腫瘍外科領域においては、あくまでも患者さんの選択(セルフディシジョン)を尊重し、がん治療ガイドラインに沿った最新かつ標準的な外科手術、化学療法を行っています。

食道がん、胃がん、大腸がん、膵臓がん、肝臓がんといった消化器悪性腫瘍の手術を2019年は235件行っています。



がん治療センター

地域の皆様が、がんセンターなどの遠方の専門医療機関に罹らずとも、自分の住み慣れた地域で、専門病院と同レベルの質の高いがん診療を受けることができるような医療体制を目指しています。

そのためには、地域の医療機関・かかりつけ医の先生方と連携し、バトンを繋ぎながら、外来から入院治療、退院後の生活、在宅治療まで、シームレスながん医療体制をつくっていくことが必要です。そして当院は、質の高いがんの集学的治療を提供する医療機関としての役割をしっかりと果たしていきたいと考えています。



キャンサーボードを強化し、一人ひとりの患者さんの治療法を包括的に議論 し検討しています

腹部内視鏡外科

大きく開腹せず小さな創から胸・腹腔内で手術を行う鏡視下手術は、低侵襲で整容性に優れた手術です。胆石や虫垂炎、鼠経ヘルニアなどはほとんどを鏡視下手術で行っております。良性疾患はもちろんの事、当科で増加している悪性疾患に対しても積極的に鏡視下手術を行い、各種進行がん(側方郭清含む)、経肛門的内視鏡下手術(ISRやTaTME)など症例に応じて適応を拡大して行っております。

症例によっては創の数を少なくし、より整容性に優れた Reduced Port Surgeryも行っております。緊急手術におい ても積極的に鏡視下手術を導入し、24時間365日対応でき るようにしております。また、6人の日本内視鏡外科学会・技 術認定医を擁し、質や安全性も担保して行っております。

当科では約半数近くを鏡視下手術で行っており、2019年は1,199例の手術のうち559件が鏡視下手術でした。



鏡視下手術対象疾患

食道がん/胃がん/大腸がん/膵臓がん/ 肝臓がん/胆石症/急性虫垂炎/ 胃十二指腸潰瘍/鼠径ヘルニア/膵腫瘍/ 腸閉塞/直腸脱/人工肛門造設/気胸 など

減量外科



外科医長 網木 学

海外では高度肥満症に対する外科手術が積極的に行われおり、体重減少効果、肥満 関連合併症の改善などが多数報告されています。日本では2014年に腹腔鏡下スリーブ 状胃切除術が保険収載されましたが、実施可能な施設は限られているのが現状です。

当院では2019年より、保険診療による腹腔鏡下スリーブ状胃切除術を導入致しました。 平均手術時間は2時間以内であり、術後在院日数は3日間となっております。現在まで に当院で腹腔鏡下スリーブ状胃切除術を受けた患者様は、全て合併症なく経過されて おります。なお、退院後は多職種での外来フォローを継続し、患者様が長期間に渡って 体重減少が維持できるようサポートさせて頂きます。

腹部救急外科

「断らない医療」の理念のもと、腹部急性期疾患に対して24時間365日体制で患者の受け入れと緊急手術対応を行っています。2019年は年間1,199件の手術のうち252件が緊急手術でした。

消化管穿孔による腹膜炎には大腸穿孔以外は腹腔鏡手術を第一選択とし、整容性と低侵襲をめざしております。一方、大腸穿孔は死亡率も高く、循環動態不安定・尿量確保困難などの患者さんが多いため、早期手術に加え、PMXやCHDFなどの体外循環治療を腎臓内科医の協力を得て行っています。



乳腺外科

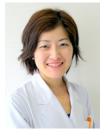
ブレストセンター

第二川崎幸クリニックは、2017年3月に乳腺専門医(女医)常勤2名体制でブレストセンターを開設。センター開設後、乳腺手術件数は大きく増加しています。

ブレストセンターでは、乳がんをはじめとする悪性腫瘍の診断・治療や、乳腺炎、葉状腫瘍、女性化乳房症などの良性疾患治療を専門的に行っています。

手術については川崎幸病院外科スタッフや形成外 科スタッフと連携し、乳房部分切除術、乳房全切除 術、センチネルリンパ節生検、腋窩廓清、再建手術 を川崎幸病院で行い、日帰りでの切開生検、腫瘤 切除は第二川崎幸クリニック内で行います。

また、術後の経過観察、薬物療法は引き続き第二 川崎幸クリニックで、術後放射線治療は川崎幸病院 にて通院で行っています。



乳腺外科副部長 木村 芙英

■ 乳腺手術件数年次推移



呼吸器外科

当科では一般的な呼吸器外科では対応困難な胸郭変形(漏斗胸、鳩胸)、多汗症などにも対応が可能です。全体の8割は胸腔鏡(補助下)手術ですが、安全性と確実性を最優先に考え、胸腔鏡手術に拘泥することがないようにしています。悪性腫瘍に対しては必要があれば手術前後に薬剤による治療も追加施行します。

当科独自の手術として「触診を併用した内視鏡手術HATS (Hand Assisted Thoracoscopic Surgery)」が挙げられます。転移性肺がんなどのように両肺に複数の病変を有する患者さんに対して、みぞ落ちを縦に8cmほど切開し、片手を挿入し左右の肺を触診する方法です。触診で確認した病巣は2cm程度の傷であけたポートから挿入した器具でモニター観察下に確実に切除します。左右同時に可能であり画像で確認した腫瘍を取り残す危険性がなくなります。また術前画像では指摘されなかった病変を触知し切除することもしばしばあります。



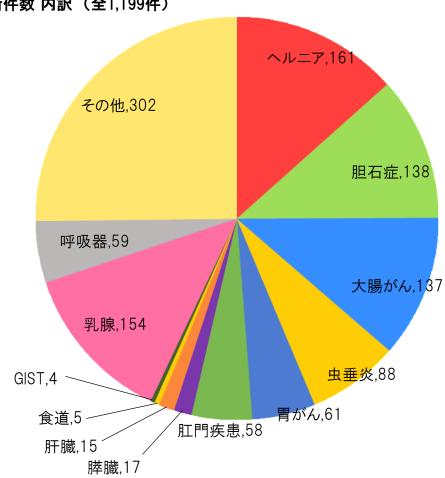
川崎幸病院 副院長 呼吸器外科部長 藤野 昇三

対象疾患

原発性·転移性肺がん/気胸/肺嚢胞/縦隔腫瘍/胸壁腫瘍/胸膜中皮腫/膿胸/胸郭変形(漏斗胸、鳩胸)/ 多汗症 など



■ 手術件数 内訳 (全1,199件)

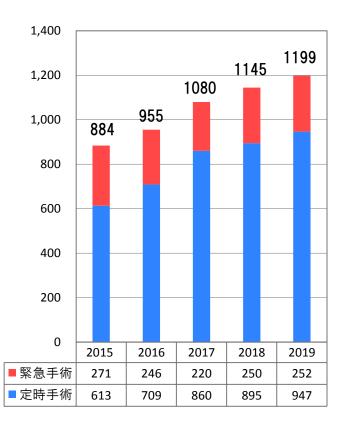


ヘルニア	161
胆石症	138
大腸がん	137
虫垂炎	88
胃がん	61
肛門疾患	58
膵臓	17
肝臓	15
食道	5
GIST	4
乳腺	154
呼吸器	59
その他	302
合計	1,199

■ 総手術件数と鏡視下手術 年次推移

1,400 1,200 1,000 ■非鏡視下手術 ■鏡視下手術

■ 緊急手術と定時手術 年次推移



■ 大腸がん手術 年次推移



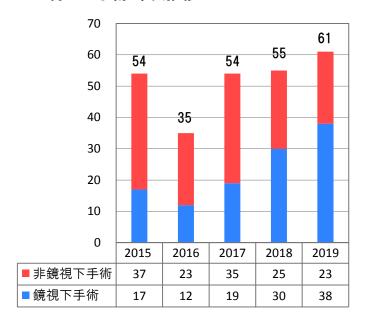
■ ヘルニア手術 年次推移



■ 食道がん手術 年次推移



■ 胃がん手術 年次推移



■ 胆石症手術 年次推移



■ 肝疾患手術 年次推移





学会発表

発表者	期間	学会名	演題名	開催
井上 貴博	2019. 2. 2	第15回日本消化管学会学術集会	Double Obstructive Colorectal Cancerに対して二期的に大腸ステントを留置し待機的腹腔鏡下手術を行った一例	佐賀
伊藤 慎吾	2019. 3. 7-8	第55回日本腹部救急医学会総会	術後離開創への陰圧閉鎖療法を中心とした治療戦略と成績	宮城
井上 貴博	2019. 3. 7-8	第55回日本腹部救急医学会総会	当院における孤立性腹腔動脈解離および孤立性上腸間膜動脈解離 の治療経験	宮城
左近 龍太	2019. 3. 7-8	第55回日本腹部救急医学会総会	下腹壁静脈に迷入した中心静脈カテーテルによる腹直筋膿瘍の1 例	宮城
富澤 悠貴	2019. 3. 7-8	第55回日本腹部救急医学会総会	食事摂取中の胸背部痛にて発症した食道壁内血腫の一例	宮城
杉山 敦彦	2019. 3. 7-8	第55回日本腹部救急医学会総会	上部消化管穿孔に対する腹腔鏡手術の治療成績の検討	宮城
伊藤 慎吾	2019. 4. 18- 20	第119回日本外科学会定期学術集会	StageIV大腸癌の原発占拠部位別にみた生存期間の解析—大腸癌 術後フォローアップ研究会登録症例の検討—	大阪
成田 和広	2019. 4. 18- 20	第119回日本外科学会定期学術集会	大腸ステント留置後の腹腔鏡下手術の検討	大阪
日月 裕司	2019. 5. 9-11	the 10th Zhongshan International Forum on Thoracic Surgery	Clinical Trials for Esophageal Cancer in Japan	上海
伊藤 慎吾	2019. 5. 9-11	第105回日本消化器病学会総会	食道原発悪性黒色腫術後の再発病変に対してニボルマブが奏功し ている1例	石川
網木 学 (伊藤慎吾 代理)	2019. 5. 24- 25	第17回日本ヘルニア学会学術集会	腹圧性尿失禁を併発した鼠径ヘルニアに対して、TEPとTVT(中部 尿道スリング手術)を同時に施行した1例	三重
日月 裕司	2019. 6. 5-7	第73回日本食道学会学術集会	全国登録データを用いた 食道癌に対する 根治的放射線治療の実 態把握	福岡
小根山 正貴	2019. 6. 5-7	第73回日本食道学会学術集会	胃管癌に対して胃管切除を施行した2例	福岡
原 義明	2019. 6. 13- 15	第31回日本肝胆膵外科学会学術集会	Endoscopic trans-gastric drainage for the pancreatic fistula after distal pancreatectomy	香川
井上 貴博	2019. 6. 19- 21	第44回日本外科系連合学会学術集会	同時性に孤立性腹腔動脈解離および孤立性上腸間膜動脈解離を生 じた一例	石川
伊藤 慎吾	2019. 6. 19- 21	第44回日本外科系連合学会学術集会	腹腔鏡下虫垂切除術を施行したLow-grade appendiceal mucinous neoplasmの1例	石川
伊藤 慎吾	2019. 7. 17- 19	第74回日本消化器外科学会総会	抗血栓療法中の鼠径ヘルニアに対する単孔式TEP(STEP)の安全性 についての検討	東京
伊藤 慎吾	2019. 7. 18- 20	第17回日本臨床腫瘍学会学術集会	Effect of ninjin'yoeito for oxaliplatin-induced neuropathies:case report	京都
伊藤 慎吾 (網木学 代理)	2019. 8. 2-3	8th Reduced Port Surgery Forum 2019 in Tokyo	当院の高齢者に対する鼠径ヘルニア単孔式TEPの治療成績	東京
石山 泰寛	2019. 9. 28- 29	日本臨床疫学会第3回年次学術大会	Surgical starting time in the morning versus the afternoon — propensity score matched analysis	福岡
伊藤 慎吾	2019. 10. 11- 12	第74回日本大腸肛門病学会学術集会	人工肛門閉鎖における癒着防止吸収性バリア(インターシード)の 有用性	東京
網木 学	2019. 10. 16	糖尿病と肥満 地域連携講演会	肥満・糖尿病に対する外科治療	神奈川
成田 和広	2019. 10. 24- 26	第57回日本癌治療学会学術集会	巨大後腹膜脱分化型脂肪肉腫の1例	福岡
伊藤 慎吾	2019. 10. 24- 26	第57回日本癌治療学会学術集会	外科入院癌患者における退院支援の現状	福岡
日月 裕司	2019. 11. 8	The 15th OESO World Conference for Esophageal Cancer	Results of Surgery-Oriented Clinical Trials for Locally Advanced Esophageal Cancer in Japan	北京
日月 裕司	2019. 11. 8	The 15th OESO World Conference for Esophageal Cancer	China-Japanese-Korean Symposium: T1b treatment	北京
日月 裕司	2019. 11. 8	The 15th OESO World Conference for Esophageal Cancer	Preoperative Chemotherapy for Esophageal Cancer in Japan	北京
伊藤 慎吾	2019. 11. 14- 16	第81回日本臨床外科学会総会	消化器外科手術におけるアドスプレーの有用性	高知
杉山 敦彦	2019. 11. 14- 16	第81回日本臨床外科学会総会	ステントグラフト内挿術により救命し得た超高齢者の動静脈瘻を 伴う内腸骨動脈瘤の1例	高知
成田 和広	2019. 11. 14- 16	第81回日本臨床外科学会総会	成人の肝肉腫の1例	高知

発表者	期間	学会名	演題名	開催
石山 泰寛	2019. 11. 21- 23	ELSA 2019 第14回アジア太平洋内視鏡外 科・腹腔鏡外科学会	Propensity-score-matched analysis of short- and long-term outcomes in patients with an ileocolic artery crossing anterior vs posterior to the superior mesenteric vein during curative resection for right-sided colon cancer	タイ
網木 学	2019. 11. 21- 23	ELSA 2019 第14回アジア太平洋内視鏡外 科・腹腔鏡外科学会	1. The knack of transabdominal pre-peritoneal repair for incarcerated and scrotal hernias 2. The role of an attenuated posterior rectus sheath in totally extraperitoneal repair	タイ
伊藤 慎吾	2019. 11. 21- 24	JDDW 2019 KOBE 第27回日本消化器関連学会週間	術後離開創への治療戦略—V. A. C. Ultaを使用し遅延一時縫合を目指した陰圧閉鎖療法について—	兵庫
網木 学	2019. 11. 30	第11回神奈川ヘルニア研究会	TAPP経験者がTEPを導入するにあたって留意すべきこと- attenuated posterior rectus sheath(APRS)の解剖を中心に-	神奈川
日月 裕司	2019. 12. 3	The LXX Uruguay Congress of Surgery and the XXIII Latin American Congress of FELAC	Minimally Invasive Esophagectomy in Japan	ウルグ アイ
日月 裕司	2019. 12. 4	The LXX Uruguay Congress of Surgery and the XXIII Latin American Congress of FELAC	Salvage Esophagectomy after Definitive Chemoradiotherapy for Esophageal Cancer	ウルグ アイ
伊藤 慎吾	2019. 12. 5-7	第32回日本内視鏡外科学会総会	当院の鼠径ヘルニアに対するメッシュ固定を行わない単孔式TEP 手技と治療成績について	神奈川
成田 和広	2019. 12. 5-7	第32回日本内視鏡外科学会総会	単孔式TEPにおけるBMI25Kg/m2以上の肥満患者の治療成績	神奈川

座長・司会・コメンテーター

座長・司会・ ター		期間	学会名	演題名	開催
成田 和広	コメン テーター	2019. 3. 7-8	第55回日本腹部救急医学会総会	一般口演・大腸	宮城
原 義明	司会	2019. 3. 7-8	第55回日本腹部救急医学会総会	一般口演・膵臓	宮城
藤野 昇三	座長	2019. 7. 3-5	第42回日本呼吸器內視鏡学会学術集会	気管支鏡の合併症	東京
藤野 昇三	座長	2019. 8. 30- 31	第23回日本気胸・嚢胞性肺疾患学会総会	ワークショップ「高齢者気胸」	東京
日月 裕司	座長	2019. 11. 8	The 15th OESO World Conference for Esophageal Cancer	China-Japanese-Korean Symposium: T1b treatment	北京
日月 裕司	司会	2019. 11. 14- 16	第81回日本臨床外科学会総会	食道癌手術における術後合併症予防を目指した手術手 技の工夫と周術期管理	高知
小根山 正貴	座長	2019. 11. 30	第11回神奈川ヘルニア研究会	一般演題 3	神奈川
小根山 正貴	司会	2019. 12. 5-7	第32回日本内視鏡外科学会総会	Mini Oral71 ヘルニア 子宮内膜・成績	神奈川

論文·執筆等

発表者	雑誌名	タイトル
日月裕司	日本外科学会雑誌第120巻第6号 639-645 2019	外科医とがん登録—NCD から見えてきたわが国のがん治療の実態 -4. 食道がん登録
Zha H, Tachimori Y	J Thorac Dis 2019;11(11):4654-4662	Comparison of long-term outcomes between radical esophagectomy and definitive chemoradiotherapy in patients with clinical T1bNOMO esophageal squamous cell carcinoma
Kato F, Tachimori Y	International Journal of Clinical Uncology Epub	Esophagectomy for the patients with squamous cell carcinoma of the esophagus after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation
Iwabu J, Tachimori Y	Sci Rep. 2019 Sep 16;9(1):13347	FGF5 methylation is a sensitivity marker of esophageal squamous cell carcinoma to definitive chemoradiotherapy.
Toh Y, Tachimori Y		Current status of radiotherapy for patients with thoracic esophageal cancer in Japan, based on the Comprehensive Registry of Esophageal Cancer in Japan from 2009 to 2011 by the Japan Esophageal Society
網木 学	臨床外科 第74巻 1258-1263 2019	RPSによる減量外科手術
Yuji Tachimori	Esophagus (2019) 16:221-245	Comprehensive registry of esophageal cancer in Japan, 2012



川崎幸病院 副院長 診療部部長 外科部長

後藤 学

■ 専門

消化器外科(特に消化管·肝胆膵) 内視鏡外科

■ 認定資格等

- 日本外科学会専門医
- 身体障害者指定医
- 厚生省認定 臨床研修指導医



外科部長代行

成田 和広

■ 専門

消化器外科(特に大腸肛門外科) 内視鏡外科および消化器内視鏡

■ 認定資格等

- 医学博士(甲)
- 日本外科学会認定医·専門医· 指導医
- 日本消化器外科学会専門医・ 指導医
- 日本大腸肛門病学会専門医・ 指導医
- 日本消化器内視鏡学会専門 医·指導医
- 日本消化器病学会専門医·指 導医
- 日本救急医学会専門医
- 日本内視鏡外科学会技術認定 医(大腸)
- 日本腹部救急医学会認定医
- 消化器がん外科治療認定医
- 厚生省認定 臨床研修指導医
- ICD(認定)
- 身体障害者指定医

- 内痔核治療法研究会四段階 注射法講習会修了
- TNTコース修了
- 緩和ケア研修会修了
- 仙骨神経刺激療法講習修了
- 日本大腸肛門病学会評議員
- 日本外科感染症学会評議員
- 日本臨床外科学会評議員
- 日本腹部救急医学会評議員大腸癌研究会施設代表者
- 大腸ステント安全手技研究会 世話人
- 神奈川ストーマ研究会世話人
- 川崎市外科医会常任幹事



川崎幸病院 副院長 外科主任部長 がん治療センター長 臨床研修部長

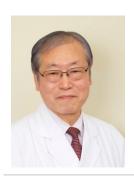
日月(たちもり) 裕司

■ 専門 食道外科

(特に食道がん救済手術)

■ 認定資格等

- 医学博士
- 日本外科学会専門医、指導医
- 日本消化器外科学会専門医、指導医、消化器がん外科治療認定医
- 日本胸部外科学会指導医
- 日本食道学会食道外科専門医、食道科認定医
- 日本食道学会理事、日本食道学会全国登録委員会委員長、食道癌取扱い規約委員会委員



川崎幸病院 副院長呼吸器外科部長

藤野 昇三

■ 専門

肺がん・縦隔胸壁腫瘍・気胸 漏斗胸・呼吸器領域の内視鏡手術

■ 認定資格等

- 日本外科学会指導医
- 日本胸部外科学会指導医
- 日本呼吸器外科学会終身指導医·専門医
- 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医
- 日本呼吸器学会指導医



第二川崎幸クリニック 院長 川崎幸病院 外科顧問

関川 浩司

■ 専門

消化器外科 (特に食道・胃・大腸) 内視鏡外科

■ 認定資格等

- 医学博士
- 日本外科学会指導医
- 日本消化器外科学会指導医
- 日本がん治療認定医機構暫定教育医
- 日本内視鏡外科学会技術認定医
- 消化器がん外科治療認定医
- 日本臨床外科学会評議員
- 日本内視鏡外科学会評議員
- 厚生省認定 臨床研修指導医
- 福島県立医科大学臨床教授



外科副部長

原 義明

■ 専門 消化器外科 肝胆膵外科 内視鏡外科

■ 認定資格等

- 日本外科学会認定医·専門医·指導医
- 日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医
- 日本肝臓学会肝臓専門医
- 日本内視鏡外科学会技術認定医:評議員
- 日本肝胆膵外科学会評議員
- 日本腹部救急医学会腹部救急認定医·教育医·評議員
- 厚生労働省認定臨床研修指導医
- 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- 日本移植学会移植認定医
- 日本胆道学会指導医
- 医学博士



外科医長 網木 学

■ 認定資格等

- 麻酔科標榜医
- 日本外科学会専門医
- 日本内視鏡外科学会技術認定医
- 日本消化器外科学会専門医
- 検診マンモグラフィー読影認定医
- 日本内視鏡外科学会評議員



呼吸器外科副部長

長山 和弘

■ 専門

肺がん・縦隔胸壁腫瘍・気胸・漏斗胸 低侵襲手術・拡大手術・肺移植

■ 認定資格等

- 日本外科学会専門医
- 日本呼吸器外科学会専門医
- 日本移植学会認定医



外科医長

小根山 正貴

■ 専門

消化器外科(食道·胃) 内視鏡外科

■ 認定資格等

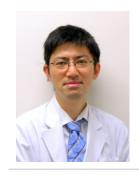
- 日本内視鏡外科学会技術認定医
- 日本外科学会専門医
- 日本消化器外科学会専門医、消 化器がん外科治療認定医
- 日本消化器病学会専門医
- 日本消化管学会胃腸科認定医· 専門医
- · 内痔核四段階注射療法実施認定
- 日本がん治療認定機構がん治療認定医
- 検診マンモグラフィー読影認定医
- 身体障害者指定医
- 厚生労働省認定臨床研修指導 医
- 難病指定医
- ・ 神奈川ヘルニア研究会世話人
- 神奈川胃癌研究会世話人



外科医長伊藤 慎吾

■ 認定資格等

- 日本外科学会専門医
- 日本消化器外科学会専門医、消化器がん外科治療認定医
- 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- 日本消化器病学会専門医
- 検診マンモグラフィー読影認定医
- 厚生労働省認定臨床研修指導医
- 日本腹部救急医学会腹部救急認定医
- 難病指定医
- 内痔核治療法研究会四段注射法講習修了
- 緩和ケア研修会修了
- 医学博士



外科医員石山泰寛

■ 認定資格等

- 日本外科学会専門医
- 日本消化器外科学会専門医
- 日本消化器病学会専門医
- 日本内視鏡外科技術認定医
- 日本がん治療認定医機構がん治療認定医



シニアレジデント

富澤 悠貴



シニアレジデント望月 一太朗



シニアレジデント **松山 遼太郎**

■ 認定資格等

AHA ACLS Provider

乳腺外科



乳腺外科副部長

木村 芙英

■ 専門

- 3... 乳癌の検診·診断·治療、 乳房の良性病変に対する治療

■ 認定資格等

- 日本外科学会専門医
- 日本乳癌学会専門医
- 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- マンモグラフィー読影As認定医
- 「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」に基づく研修終了
- 医学博士
- 東京医科大学病院乳腺科兼任助教
- 日本超音波医学会 超音波専門医

乳腺外科

中村 幸子

■ 専門

乳癌の検診・診断・治療、 乳房の良性病変に対する治療

■ 認定資格等

- 日本外科学会専門医
- 日本乳癌学会専門医
- マンモグラフィー読影A認定医
- 「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」に基づく研修終了
- 医学博士

川崎幸病院は外来分離をしており、救急外来のみを行っている急性期病院です。 緊急性のある患者さんは川崎幸病院にご紹介ください。

外来および専門外来は第二川崎幸クリニックで行っておりますの、 緊急性がない場合はこちらにご紹介ください。

専門外来へのご紹介

第二川崎幸クリニック

2:044-511-2112



ご希望の予約がとりにくい場合もございます。

その際は、川崎幸病院地域医療連携室(044-544-4638)までご相談ください。

緊急性のある患者さんのご紹介

川崎幸病院救急外来で対応致します。

1044-544-4638 (地域医療連携室直通)

※ 直通電話は17時以降は受付に転送されます。



無料シャトルバスのご案内

川崎駅西口より無料バスがあります。 別紙ご参照ください。





川崎市幸区大宮町31-27 TEL:044-544-4611(代表)

